2021年８月６日

KYOTO STEAM
－世界文化交流祭－

C-PIER
京都大学 学際融合教育研究推進センター

主催・問合せ：KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1 京都市国際交流会館内
（京都市 文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課）
担当：山本・西田
TEL.075-752-2212　FAX.075-752-2233　Email : info@kyoto-steam.org

京都市 CITY OF KYOTO
文化庁
令和3年度
先進的文化芸術
創造拠点形成事業
公式WEB

事業概要

アート×サイエンス・テクノロジーをテーマに様々なプロジェクトを進めてきた**「KYOTO STEAM-世界文化交流祭-」**と、全分野結集型シンポジウム等学術分野で挑戦的な取り組みを行ってきた**「京都大学学際融合教育研究推進センター」**は、**【学問の〈根・音・ね〉】**と題し、共同で事業を実施します。

研究者や芸術家を含め少人数でグループを作り、半年間、対話を重ねながら、各学術分野の成り立ち、すなわち原点の「問い」から現在に至るまでの問いの歴史と、各分野との連鎖を仮想空間で可視化することを試みます。

専門性が高まれば矮小化する学術の世界。学問の樹形図を通して、自らがどの流れを汲んでどこへ向かうのかを改めて確認し可視化することで、新しい思考を拓くことを試みます。「世界とは何か」、「物質とは何か」、「自分とは何か」、といった根本の問いから紡ぎ出された山のような問いの歴史と連関を、多分野の研究者が結集して徹底的に議論し、我々は歴史に埋め込まれた存在であることを自覚し、その歴史のうちに今の自分の立ち位置を確認したいと考えます。

■スケジュール
2021年
8月6日～8月20日　　参画者公募／推薦
9月～1月　　勉強会／クリエイション（参画者のみ。非公開。月1回程度、オンライン）

2022年
1月29日　　公開振返り会（オンライン／オンサイト） @京都市京セラ美術館 講演室

■クレジット
主催：KYOTO STEAM-世界文化交流祭-
　　京都大学学際融合教育研究推進センター

協力：一般社団法人STEAM Association

令和3年度文化庁芸術創造拠点形成事業

ファシリテーター・企画：宮野公樹（京都大学 学際融合教育研究推進センター准教授）

コーディネーター：山本麻友美（KYOTO STEAM-世界文化交流祭-　アート・ディレクター）

参画者募集

【学問の〈根・音・ね〉】プロジェクトへの参画者を募集します。

対　　象：創造活動を行う個人あるいは研究者、専門家等（活動ジャンルは問いません）

応募条件：９月以降に開催する勉強会やクリエイションに積極的に参加できる方
2022年1月29日(土)に実施する公開振返り会に参加できる方（オンラインも可）
※芸術家の方は作品を制作することは必須ではありません。

採用人数：9名程度（芸術家３名、研究者3名、伝統文化人3名）

申込方法：WEBサイト（　https://www.cpier.info/gakumon-ne-ne-ne　）から氏名、連絡先、所属、プロフィール、SNS（アカウントお持ちの場合）、志望動機等をお送りください。

募集期間：2021年8月6日（金）～8月22日（日）

＊応募多数の場合は、事務局にて検討の上、合計9名程度にさせていただきますことをご了承ください。

※参画の可否は、8月末頃までに応募者全員にお知らせいたします。

ファシリテーター・企画

｜宮野公樹｜みやのなおき｜

京都大学学際融合教育研究推進センター准教授。学問論、大学論、（かつては金属組織学、ナノテクノロジー）。総長学事補佐、文部科学省学術調査官の業務経験も。国際高等研究所客員研究員も兼任する他、2021年5月一般社団法人STEAM Associationを設立し代表理事に。日本イノベーション学会理事。2008年日本金属学会論文賞等の学術系の他、2019年内閣府主催第一回日本イノベーション大賞の受賞も。前著「学問からの手紙―時代に流されない思考―」（小学館）は2019年京大生協にて一般書売上第一位。2021年2月発刊の近著「問いの立て方」（ちくま新書）は既に第三刷。

企画者・宮野公樹氏から参画者へのメッセージ

この企画のねらいは、ただ一つ。

《 すべての専門は入り口でしかない 》

これを体験したいのです、字面や論理ではなく、
この身体で。

これは学術に限りません。

芸術であろうが、伝統文化であろうが、

徹底的に突き詰めようとすると、あるいは、
そもそもの原点に戻ろうとすると、

必ず、行き着くところは同じ領域。

それを感じたいのです。

そのために、人間の根っこにある原点的な
「問い」から、

今を生きる我々の今日的な「問い」まで、

その連鎖を可視化してみようと考えました。

例えば、人類がまだ洞窟に住んでた頃。

焚き火を囲み、ふと満天の星を見上げて呟く、

「この世とは何か。自分とは何か・・・」

そういった人間の始原の問いを出発点とし、

誰もいない電車の中でスマホ片手に、

AIが政策提言するというトレンドトピックを
読みながら

「DX時代の意思決定、民主主義って
何なのだろう」

といった現代の問いまでの”数珠つなぎ”を
見てみたい！

もちろん、この問いの連鎖は一直線に
なろうはずもなく、

「問いの樹形図」とも言える壮大な光景を
我々は目にすることになるでしょう。

この挑戦を、研究者、アーティスト、文化人が
集まってやるのです！

各自が専門を持ち寄りつつも、
その専門の枠を超え、

宇宙を作らんとする一つの目標のために
本気で問い合う、
いうなら、その多専門が奏でる音を
ぜひ聞いてみたいのです。

体育館一面に白紙を敷き詰め、そこをカンバスに
壮大な問いの連鎖を描いてもいい！

あるいは、VR空間で壮大な問いの大樹を
描いてもいい！

壁が問いで埋め尽くされた「リアル迷路」でも
創ろうか！
（絶対迷うやつ。そして、出口が無いやつ笑）

＜ あぁ、問いのなかに自分が在る ＞

これを体感した者は、きっと

自分という小さき現実性と、
宇宙という大いなる歴史性を

自分の内に統一するでしょう。

ね！ 面白そうでしょ！ 一緒にやりません？

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－について

アート×サイエンス・テクノロジーをテーマに，アーティスト，科学者，技術者，研究者等，様々な人が協働する，実験的で革新的な複数のプロジェクトからなる，新しい文化・芸術の祭典です。世界の未来に希望が持てる社会を，京都そして日本から構想し，発信する「KYOTO CULTIVATES PROJECT」の理念である「京都は耕す、育む、磨く」を体現することを目指しています。

※ STEAMとは…Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Arts（芸術）、Mathematics（数学）

■ KYOTO STEAM－世界文化交流祭－公式WEBサイト：https://kyoto-steam.com/

KYOTO CULTIVATES　京都は耕す、育む、磨く

産業革命以来の人類の進歩は、地球温暖化や巨大災害により生存が脅かされ、宗教対立やテロなどにより人類の間で分断が進むなど行き詰まりを見せています。また、文明の進歩が人類に幸福をもたらすという素朴な期待は、ITの発達により深刻なリスクと背中合わせであることが一般的な認識となり、未来への懐疑も深まっています。こうした中で、長年にわたり多くの自然災害に見舞われ、幾多の戦乱に巻き込まれながらも、古代からの文化が途絶えることなく承継されている京都が、東洋的な自然と人間との共生や日本的な宗教的寛容という土壌の下で、新たな未来に向けて現在の営み及びその源泉となるものを耕し、育み、磨くこと（CULTIVATES）が現在、改めて求められています。本プロジェクトを通じて、世界の未来に希望が持てる社会を京都そして日本から構想し、発信します。

京都大学学際融合教育研究推進センター

京都大学 学際融合教育研究推進センターは、研究者が専門を越えて研鑽できる学問本来の土壌作りを目的とし、学際的研究、学際的活動を企画・実施する組織です。
人類が直面する課題は複合的でその解決には広範な専門性を要する一方、学問の多様化・細分化は進み、研究者は隣接する学問領域についても把握しきれない状況となっています。京都大学学際融合教育研究推進センターでは総合大学としてこうした現状を打開するため、学内で立ち上がる全学的・部局横断的な取り組みに対して柔軟かつダイナミックに対応できる枠組みを提供し、さらには積極的に「融合」をしかけます。

■京都大学学際融合教育研究推進センターWEBサイト：http://www.cpier.kyoto-u.ac.jp/

＜問合せ＞
KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1　京都市国際交流会館内
（京都市 文化市民局 文化芸術都市推進室 文化芸術企画課）
担当：山本・西田
TEL.075-752-2212　FAX.075-752-2233　Email : info@kyoto-steam.org